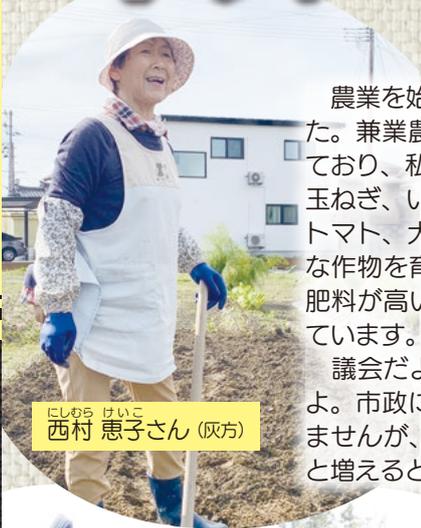


# 農業者編

議会が **もっと** / 近くなる

# 市民の声



にしむら けいこ  
西村 恵子さん (坂方)

農業を始めて7～8年経ちました。兼業農家で妹が田んぼをやっており、私は菊、アスパラ、冬菜、玉ねぎ、いちご、なす、きゅうり、トマト、大根、人参などいろいろな作物を育てていますが、最近は肥料が高いので堆肥作りに挑戦しています。

議会だよりはたまに見ていますよ。市政に対する不満は特にありませんが、農業をやる若者がもっと増えるといいなと思います。



わかばやし さくお  
若林 喜久夫さん (横田)

議会だよりは時折手に取って読んでいます。

農業を始めたきっかけは、家業でもあり、父の背中を見て自然に取り組むようになりました。現在は、11ヘクタールの農地で主に米を作っています。

今夏の猛暑と肥料等資材の高騰により大きなダメージとなりました。

我が家を含む多くの農家にとって後継者不足も深刻です。

今後も消費者の「食」の安全・安心を守り、農業を続けていきたいと思っています。



まるやま こうへい  
丸山 航平さん (野本)

医療機関で理学療法士をしながら、兼業農家として家族で農業をしています。

今年はコシヒカリやこしいぶきの一部を新たにドローンによる直播栽培で行いましたが、暑さの影響がとても大きかったです。これから徐々に圃場を大きくしたいと考えているので、そのためにも直播栽培を研究しながら農業に取り組んでいきたいです。

市議会については、日中、仕事や子育てをしていると見る機会がなく、議会だよりも今回の取材で初めて目を通したので、これをきっかけに見ていきたいと思います。

市政については、全天候型子ども遊戯施設は子供と過ごせる場所として早くできるのを楽しみにしています。



せと まさあき  
瀬戸 正秋さん (吉田本町)

本町地区のきゅうりは、テレビの取材や仲卸業者のPRにより近隣で需要が拡大しています。現在は市場での競りがなく、一定価格でケース単位での出荷が主流で、早朝収穫で翌日にはスーパーに並びます。

JAだよりや広報つばめを通じて地域情報を把握し、議会の動向も注視しています。地域成長や食文化支援に貢献し、後継者の育成にも力を入れていきたいと思っています。

●ご協力ありがとうございました。(編集委員一同)

## FROM EDITOR

編・集・を・終・え・て

様々な意見を出し合いながら、皆様に親しまれる紙面づくりに向けて取り組んできた1年間でした。市民の皆様へのインタビュー記事の掲載も始まり、委員会ではより議論を重ねる時間が増えてきたように思います。議会だよりを通して、皆様には議会を身近に感じていただけたら幸いです。(高橋)



議会にみんなの声を！  
1分アンケート実施中。  
たくさんのお待ちしています！



## COVER STORY

今・号・の・表・紙

2月22日は、「にゃん・にゃん・にゃん」で「猫の日」なんだそうである。我が家にも6歳になるキジトラの猫が1匹いる。どれほど家族の心を和ませてくれるのか分からない。ありがと「にゃん」。  
1月11日は「ワン・ワン・ワン」かと思ったら、「犬の日」ではないらしい。さみしいワン。



高齢者や視覚の弱い方に配慮したユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用しています。

¥FREE (for 燕市民)  
燕市議会 TSBN15213-2024

